

高リスク甲状腺分化癌の術後症例におけるモノヨードチロシン (MIT) およびジヨードチロシン (DIT) 測定の有用性の可否検討 (多機関共同研究)

1. 研究の対象

本研究の学校長承認後に当院総合臨床部を受診し、再発リスクの高い甲状腺分化癌（乳頭癌・濾胞癌など）と診断され、甲状腺全摘出術を受けた患者さん。

2. 研究目的・方法・期間

甲状腺にできる悪性疾患の大半は分化癌（主に乳頭癌と濾胞癌）と呼ばれるものです。分化癌の腫瘍マーカーにはサイログロブリン (Tg) という物質が用いられています。Tg は甲状腺あるいは分化癌で合成されるため、特に再発の危険性が高い分化癌（ここでは高リスク分化癌と呼ぶ事にします）に対する甲状腺全摘出術後の再発マーカーとして広く用いられています。一方、Tg を使用できない場合もいくつかあり、Tg に代わる新しいマーカーの研究が必要と考えていました。

今回着目したのは、甲状腺ホルモンが合成される際の代謝産物であるモノヨードチロシン (MIT) とジヨードチロシン (DIT) で、これらは Tg に多く結合している物質です。そこで獨協医科大学埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科と日本医科大学病院内分泌外科の協力のもと、今回の臨床研究を企画しました。研究は、Tgなどを測定する際に採取した保存血清で検査を行う事が可能ですので、研究の参加に御同意いただける患者さんに実施していただく事は特にありません。研究は 2025 年（令和 7 年）3 月 31 日まで行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血清

情報：年齢、性別、病名、使用中の薬剤、血清検体の甲状腺刺激ホルモン (TSH) ・ Tg ・ 抗サイログロブリン抗体 (TgAb) ・ MIT ・ DIT の濃度。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

試料・情報の利用については、研究用の ID 番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については研究責任者又は指名された者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

防衛医科大学校においては、復元するための情報（対照表）は、当施設の藤田直也が保管・管理します。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関からのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。委託業者への試料送付は、業者が直接回収し、試料提供では個人情報をもとには個人を特定できない加工した情報として提供します。

6. 研究組織

防衛医科大学校病院 総合臨床部 田中 祐司
獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科 橋本 貢士
日本医科大学病院 内分泌外科 杉谷 巖

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、一度同意された後でも試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（未成年の場合は親権者又は未成年後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせの連絡先：

所属氏名：防衛医科大学校病院 総合臨床部 藤田 直也

住所：埼玉県所沢市並木 3-2

電話番号：04-2995-1211（内線 3633）

連絡可能な日時：平日 9 時から 17 時まで

メールアドレス：n-fujita@ndmc.ac.jp

研究代表者：（防衛医科大学校における研究責任者）

防衛医科大学校病院 総合臨床部 田中 祐司